



京都市緑のボランティアセンターより、緑のボランティア活動や地域での活動に役立てていただくため、市内各所の活動実例や緑に関する情報をご紹介します。

街路樹サポーターによる「緑化活動」事例 ― 右京少年補導委員会 山ノ内支部



街路樹サポーター制度の植樹帯に草花を植える緑化活動は、一定の要件を満たした街路樹サポーターが実施できる活動です。「右京少年補導委員会 山ノ内支部」は、落葉清掃等だけでなく、花苗を使った緑化活動を頑張っておられる団体で、三条通―四条通間の葛野大路という、人々が多く行き交う道路で、街路樹サポーター活動をされています。今回は花苗の植え付け作業を行っている様子を取材しました。

「右京少年補導委員会 山ノ内支部」は、4年ほど前から葛野大路にある10ヶ所の街路樹(イチョウ)のお手入れをされています。毎月第1日曜日に街路樹への水やりのほか、縁石や路面の隙間に生える雑草の抜き取り等を行っています。現在では約25名が街路樹の手入れに携わっているとのこと。



▲葛野大路での植え付けの様子(手前・奥)。歩行者等の通行に気をつけながら手分けして植え付けます

▼植え終わった植え樹



▲葛野大路での街路樹手入れの様子。
(上)水やり (下)除草・清掃
(いずれも大江会長 提供)

植え付け作業は、花とみどりで美しい景観づくりや犯罪予防となる環境づくりを目指して、右京区内の地域団体等を区が支援する「右京区安心安全・花いっぱい運動」(令和6年度)

を利用し、市立山ノ内小学校を拠点に、校内のプランターづくりと合わせて行われました。委員会会員と小学校PTAを合わせた約15名が参加しました。委員会の大江忠行会長は、「小学校の通学路で、幼稚園バスも通るにも関わらず、植え樹にゴミや犬のフンが捨てられているのを見て、何とかしなければと思い、花を植えようと考えました」と、緑化活動のきっかけをお話しされました。付近に水道栓のない葛野大路での水やりについては、「葛野大路沿いに住む協力者から水をいただいて運んでいます」とのこと。地元住民からの信頼も厚いことが伺えます。

【緑化活動を希望される街路樹サポーターの皆さまへ -所轄の土木みどり事務所へご相談ください-】

緑化活動で草花を育てたいときは、

1年以上の活動実績

土木みどり事務所との事前協議

「緑化活動計画書」の提出

が必要です。

提出書類の様式は、ホームページ(京都市情報館)からも入手可能です。
web 検索または右記の二次元コードをご利用ください。



公園愛護協力会の活動紹介 —— 下鴨森が前公園

下鴨森が前公園は、左京区の街区公園では最も古い公園の一つです。下鴨森が前公園愛護協力会は、地域で長く愛されてきたこの公園で30年以上にも渡って活動されています。活動の様子等について、元会長の長尾聖子(せいこ)さんにお話を伺いました。

活動は1月を除く毎月第1土曜日の9時～10時頃まで行われ、現在は公園近くにお住まいの約10名が中心となって活動されています。参加できるときに自由に来てもらい、それぞれ名簿に記入して活動するスタイルを取られているそうです。



参加者で記念撮影(石原会長 提供)



清掃活動の様子(石原会長 提供)

2年前からは、近隣の幼稚園から、「幼稚園帰りの子どもたちや保護者が公園のお世話になっているので」と、園長を中心に園職員の参加もあり、今年からは活動日とは別に幼稚園に通う子どもたちや保護者による清掃活動が始まったとのことです。メンバーは、「会員が高齢になる中、とても協力的に活動してもらって、嬉しいです」とお話しされています。歴史ある公園と愛護協力会の活動をベースに、地域の方々の交流が活発になっています。

公園の見どころについて、長尾さんは、「カエデが一斉に黄色・だいだい色・赤色とグラデーションになる様子は特にきれいです」とお話しされていて、皆さんがお世話する木々の紅葉が、地域で長く愛される公園の魅力となっているようです。

【下鴨森が前公園】 左京区下鴨西高木町6
(設置年) 昭和10年

この公園にはモクレンやユキヤナギ、トチノキ等、多種多様な樹種がみられ、トウカエデの大木も何本も見られます。長尾さんによると、「落葉樹から落ちる葉が多いため、12月は2日間活動します。一昨年は1日の作業で、ボランティア袋64袋もの落ち葉を回収しました。また、秋冬だけでなく、常緑樹が一斉に葉を入れ替える春も落ち葉が多いです」とのことです。



子どもたちも活躍しています(石原会長 提供)



Park-UP 事業に取り組む「提案主体」を募集！！



Park-UP 事業とは

京都市では、地域主体の柔軟な管理運営を、民間企業等の多様なサポート団体が支援することによって公園の魅力向上を目指すとともに、地域コミュニティの活性化など、地域課題の解決や価値向上に寄与するため、Park-UP 事業を創設しました。

公園というフィールドを活用して、「地域でこんなことをやってみたい」、「企業と連携してこんな活動をしたら仲間が増えるのでは」という自由な発想を地域で話し合い提案してください。提案内容の実現に向け自ら活動していただける団体（公園愛護協会の、自治連合会、その他、地域活動を主とする団体）であれば応募できます。まずは、下記「問い合わせ先」へご相談ください。

Park-UP 事業のメリット

例… こんな活動ができるようになります

○ 地域独自の利用ルールを定め、やりたかったことを公園で実現

地域が主体的に公園を管理運営することを前提に、行政が定めた画一的な利用ルールではなく、地域合意のうえ、地域の実情にあった運営方針や利用ルールを定めることができます。

○ 活動を通じた仲間づくり

民間企業、市民活動団体、大学、NPOなどのサポート団体と連携し、公園の管理運営を行うことで公園の魅力向上とともに、活動を通じた仲間づくりを行うことができます。

○ 交流・活動拠点の設置が可能に

持続的な利用の促進と地域コミュニティの活性化等に資するため、地域合意のうえ、公園内に Park-UP 施設（交流施設、活動拠点となる施設）の設置が可能となります。さらに、地域主体の柔軟な公園の管理運営に資すると認められる場合は、便益施設等を併設することも可能です。

○ 広報など活動を支援

取組にあたっては、広報や他の公園での活用事例の紹介等の活動支援を受けられます。



公園での活動を通じて
担い手・仲間づくり



朝市・マルシェなど地域ニーズに
合った利活用

例えば…
公園愛護協会のメンバーを増やしたい
地域の人が集まれる交流拠点を創りたい



提案書等を提出

審査・認定

提案主体として

地域やサポート団体（民間企業等）と連携



京都市が連携を
バックアップ



「公園の未来像」を
目指して活動を実施



WEBサイトは
こちらから

応募方法

京都市のWEBサイトから「公園活用提案書」をダウンロードいただき、必要事項をご記入いただいたうえで、電子メール又は郵送でご応募ください。

【お問い合わせ先】

〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地

京都市建設局みどり政策推進室 公園利活用担当

TEL:075-222-4114 FAX:075-212-8704 (メール)ryokusei@city.kyoto.lg.jp

街路樹への水やりの御協力のお願い(京都市)

平素は、緑化行政に御理解と御協力いただきありがとうございます。

昨年、異常高温と降雨がない状況が続き、歩道に植えている街路樹が弱ってしまいました。

このため、今夏、降雨がない状況が続いた場合、皆様ができる範囲で歩道の街路樹へ御協力くださいますようお願いいたします。

水やりで、街路樹の活気を取り戻そう！

水やり前



水やり後



水やりは日差し強い日中を避けて、
朝・夕方をお願いします。

※水やりは一度使用した水
(お風呂の水など)でも大丈夫です。

見つけたら、ご報告ください！！ クビアカツヤカミキリ

クビアカツヤカミキリは、元々日本にはいなかった外来種のカミキリムシで、京都府内ではまだ確認されていませんが、繁殖力が高く、どんどん分布を拡大しています。主にサクラ、ウメ、モモ等のバラ科の樹木につき、幼虫が木を内部から食い荒して枯らしめます。

被害を広げないためには、普段から公園樹や街路樹にご関心をお持ちの皆さまの見守りが頼りです。

昔から親しんできた木を、みんなで守りましょう！

- サクラやウメ等から木くずが出ている
- 成虫を発見 → 踏み潰すなどして駆除した上で

ご一報ください！

京都府 自然環境保全課

TEL:075-414-4706 FAX:075-414-4705

メール:shizen-kankyo@pref.kyoto.lg.jp

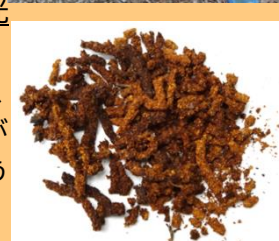


【被害の見分け方】□

▲ 成虫は胸部が赤く、全体に光沢がある黒色をしています。

▲ 被害を受けた樹木からは、フラス(幼虫のフンと木くずが混ざったもの)がひき肉のように連なって出てきます。

画像提供…埼玉環境科学国際センター



お気軽に
ご相談
ください

京都市緑のボランティアセンター

電話:075-352-2535(梅小路公園内専用回線)

場所:梅小路公園緑の館 2 階ロビー(京都市下京区観喜寺町56-3)

時間:午前 9 時～午後 5 時まで 月曜日を除く毎日(年末年始12月28日～1月4日休み)